平成27年度事務事業評価シート(一般事務事業用)

一般会計【茅野市】

事	務事	業名	市民研	修会	業											事業期間	平成	19	~		年度	整理番号	01070204
担	当剖	署	企画総	務部			К	ートナー	-シップの	まちづく	り推進課	市民	舌動推	進係		作成担当	者名	河	西	茂	廣	連絡先	145
									政	策	06	第61	1 住	民自治	のしく	みづくり							
	市	民	プラン	ノに	_	πh ź		-	施	策	03	第31	市自	治を担	うひと	づくりの	推進						
	お	ける	位置:	づけ	有	以	策体	术	細が	5 策	01	人材(の育成	と活用									
									事務	事業	03	市民	开修会	事業									
計	予	算	事 業														会計	コード	00	款	02	項 01 目	06 事業
					出前	打講座	の開	催															
	事	務事	業の	概要																			
画	(Rd	深し	わかりや	9 ()																			
					+ t	41	した	未足	ь <u>ь ±</u> .	二准分	ス Ho L	組む	<u> </u>	r ±+	- Mh Ist	世 野 生 オ	白色	か問題	レ書き	· 4=	This I	小地拉莎	解決(自助・
			と 背 うして	泉	共即	りし	ても	らう	とめの	一助と	して出	が前講	座を行	こ、 なん テってし	いる。	THE T	В	グロル出	C 73 /	L. 11	3 0 C C	THE ASK CE	F/A (D D) -
	(_		- ,																			
	目	++	受益		市瓦	ŧ																	
	H	対			市長	ŧ																	
		象	対 (直接働き																				
Р					未 证	T _ M	TH 62	た変	カア±.	231	トナナ	- 4th		百 笙 太 卢	18h . #	助の籍な	11- F	LI Mah	lat 73 7	7 幸 ス	= FH	は地域で解え	11 7 ± £
	的	/ 10 /	意 ほんな状態にし	<u>×</u>	う。	(* \ U)	生件	C /**	שטע	976	. 2 01	- , 16	44 (T.)	8 寸で⊨	140) · 75	PAN CO FEE TH	-1-6	7 . AB.	9, 0	୍ କ	_ C 10	KARAK C 1947	KUCUS
		(21	な仏怨にし																				
L					出事	「講座	情報	の提(共と開	催													
	手	段	· 方	法																			
			やつ																				
Α																							
			/= :								11-			71	,,,			L Andre 1:		h			B 45 E 1= 11
			行政活	動の約	古果:	からて	つくり	たす	ものに	[何?	指	標	名	称	単位	算出万	法・言	十算式	・目标	票値設	足のす	考え万など	最終目標値
N.	==	活動	広報誌	への と	出前	講座の	り掲載	ţ			掲載数	t			数								1
N	評価	指																					
	指	標														-							
	標																						
	の作	成	成	果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	十算式	目标	票値設	定のす	考え方など	最終目標値
	成	果	出前講	obs size to	45						開催数	,											200
		指	ILLI BU AM	· 土 大 /								•				1							
		標	出前講	座参加	川者	数					参加者	数			人								10, 000

	Į	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円					
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規 職	員	人	0. 05	0. 01	0. 05	0. 10	
	員	嘱 託 職	員	<u> </u>					
	数	臨 時 職	員	<u> </u>				0.40	
状		合 / 书	計	人	0. 05	0. 01	0. 05	0. 10	
		対象(者)	数						
_			(b)						
			(b)	円	_	_		_	_
況		受益者負担	額	円	_	_		_	_
H		市民一人当たりのコス		円					
		掲載数	目標 実績	数	1	1	<u> </u>	1	
			達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100.00	_
	活		目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	
	動指	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D :	標		目標	,,					
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	_	200	200	200	200	200
	成	開催数	実績		204	169	135	97	120
	果		達成率	%	102. 00	84. 50	67. 50	48. 50	60. 00
	指		目標	人	10, 000	10, 000	10, 000	10, 000	10, 000
1	標	参加者数	実績		9, 313	11, 246	4, 625	3, 719	4, 000
			達成率	%	93. 13	112. 46	46 . 25	37. 19	40.00
	備								
	考								

IH	当部	署 企画和			re— L	ナーシップの	まもづくり	*** *	民活動推定	生体		事業期间 作成担当:		河	西	茂膚	F 及 :	連絡先		45
끄브					, .— r	. 2920	20219	THE PERSON NAMED IN				- 灰担ヨ	11	<i>/</i> *1	법				<u> </u>	70
	期		I	目 標					5	実 績	Ī					Ī	果是	夏		
	第																			
匹	ж 1	H26講座開							催実績の						催実績	が、前年	度を:	大きく下回	ってし	まっ
	期	H27講座メ	ニューの周	知			H27	7講座メニ	ニューを広	戦、HP	で周知し	た。		た。						
半	第													31-2-42	-L 88 A	A ST VILL		の囲ませ	4= = N	, m 42
	2	まちづくり	講座開催σ	経過や	意義を	調査する	。 過 2	去の書類	[等により終	圣過等	の調査を	開始した	•	ある。	で開催	の推画へ	で思事	の調査を	1丁フル	み安か
	期													w.						
期	<i>h</i>																			
	第	++ - 2/11=	alt of t 88 AH at	47 1E L		- 381 本 子 フ			等により終				~ +.	88 AH ct	4 + H		+ 46.5	, m + 7		
_	3 期	まちづくり	再座開催り	雑週で	思義さ	に調査する			シップの前 たことなど				いた	開惟美	複で性	はす土	大か火	少安でめる	•	
1	栁						-51	->400	,	0 4270	J.C.									
	第						Has	神体メー	ニューの各	理照点	を行った	-								
ع	4	H28講座メ	ニューの名	課照会					まちづくり				こて					آをすれば	よいか	八今
_	期								に開催を検					俊の様	いまま	である。)			
								-	事 中	==	F 位	•								
Ø	N/ /		#L 0 :	□ /\$4 ∀ \$		*r + 1 - 4	18 4 88		7 1	ř										
	===	年度開始後	:、約6ヶ	月か栓』	遊し、	新たに生	した問	超点では		今	成	広 充			2		5	レ	7	
										後	果一切	見状維持			(3)	6		9	
管											¥								ļ	
										の	力 ^糸 向	宿 小			4)	8		10	
理		新年月	度の実施詞	画・う	7算要	求事項	(改革・	·改善策	₹)	方		木 廃 止	. (D						
-										向	_		٠,	皆	減・糸	宿 小	\ FE		拡	
											_	/				-				• •
										性				⊐	ス	ト 投	人	の方	向	性
		证法定法		//==						•										
		評価年度		4年度					-	d		41	_			60	^	== /==	dut	
		見点	妥	当	T	生	1			生		効	率		<u> </u>	総	合	評価	判	定
評	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	1	2 :	3 4	判定	! 1	2	3	4	判定					
	チ	ェック				4		1	ا	3					4					
		今までPI				らのとホー	-アペー	-ジへの	掲載をして	てきた	が、より	/広く市/	見に	まちづ	くり講	記A		画どおり事 ぶき火	業を進	めるこ
_		座の存在で	を知らせる	必要が	ある。													が適当 ≹の進め方	に改善	が必要
価	課																			
	P.																	 規模・内		施主体
	I															定	の見	見直しが必	要	
^	題															定 義 D	の見 : 事第 討か	見直しが必 能の統合、 が必要	要 休・廃	
~ С																定 義 D	の見 : 事第 討か	見直しが必 との統合、	要 休・廃	
C																定 義 D	の : 事第 討か 度総合	見直しが必 能の統合、 が必要	要 休・廃	止の検 B
(с т	題	細			策	評		価	前		N		施		策	定義 前年月 前年度	の見:事第 対:	見直しが必能の統合、が必要 計画価料理価	要 休・廃 号 010	上の検 B 070204
н		一定の効果	果をあげて	いるが	、平成	26年の月	に積は前	年を大	きく下回る	5結 -	定の効	果をあげ	てい	るが、	平成2	定義 前年度 前年度	の事業を設定を表現である。	見直しが必 達の統一 が必要 合評価判算 一ト整理番 価 が年を大き	要 休・廃 号 010 後	正の検 B 070204 回る結
	題総	一定の効果となって	果をあげて てしまった	いるが。メニ	、平成	26年の月	に積は前	年を大	きく下回る	うな 昇	定の効 となっ	果をあげ てしまっ	てい た。	るが、	平成2	定義 前年度 前年度	の事業を設定を表現である。	見直しが必 達の統一 が必要 合評価判算 一ト整理番 価 が年を大き	要 休・廃 号 010 後	正の検 B 070204 回る結
H E	題	一定の効果	果をあげて てしまった	いるが。メニ	、平成	26年の月	に積は前	年を大	きく下回る	うな 昇	定の効 となっ	果をあげ	てい た。	るが、	平成2	定義 前年度 前年度	の事業を設定を表現である。	見直しが必 達の統一 が必要 合評価判算 一ト整理番 価 が年を大き	要 休・廃 号 010 後	正の検 B 070204 回る結
н	題総合	一定の効果となって	果をあげて てしまった	いるが。メニ	、平成	26年の月	に積は前	年を大	きく下回る	うな 昇	定の効 となっ	果をあげ てしまっ	てい た。	るが、	平成2	定義 前年度 前年度	の事業を設定を表現である。	見直しが必 達の統一 が必要 合評価判算 一ト整理番 価 が年を大き	要 休・廃 号 010 後	正の検 B 070204 回る結
H E C	題総	一定の効果となって	果をあげて てしまった	いるが。メニ	、平成	26年の月	に積は前	年を大	きく下回る	うな 昇	定の効 となっ	果をあげ てしまっ	てい た。	るが、	平成2	定義 前年度 前年度	の事業を設定を表現である。	見直しが必 達の統一 が必要 合評価判算 一ト整理番 価 が年を大き	要 休・廃 号 010 後	正の検 B 070204 回る結
H E	題総合	一定の効果となって	果をあげて てしまった	いるが。メニ	、平成	26年の月	に積は前	年を大	きく下回る	うな 昇	定の効 となっ	果をあげ てしまっ	てい た。	るが、	平成2	定義 前年度 前年度	の事業を設定を表現である。	見直しが必 達の統一 が必要 合評価判算 一ト整理番 価 が年を大き	要 休・廃 号 010 後	正の検 B 070204 回る結
H E C	題総合評	一定の効果 果となって るPRが	果をあげて てしまった	いるが :。メニ :。	、平月 ユ ー数	乾26年の写 牧の増加、	尾續は前 利用者	が年を大 計の増加	きく下回るに向けさら	るる	·定の効 !となっ P R が!	果をあげ てしまっ	てい た。 る。	るが、 メニュ	平成20 一数σ	定義 前年度 前年度 評 6年の実	の事計総合シ (情)	記直しが必合、 はの統合、 会評を基準を 一ト整理番 一トを理番 前年を大き	要 休・廃 号 010 後	正の検 B 070204 回る結
неск)	題 総合評価	一定の効果となって るPRが必	果をあげてた と要である 改要である	いるが :。メニ ・ 改	、 平 成 ユ ー数 善 策	t26年のず 枚の増加、 i の 実	を続は前 利用者	ディスタ (元本を大 での増加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きく下回。 に向けさi 検 討 「	るる	定の効: !となっ ! P R が!	果をあげっと である 必要であ 細施策	てい た。 る。 評 何	るが、 メニュ 5 に お	平成26 一数の	定義 前年度 新年度 評のの 5年加、 6年加、 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の	の事計総合シ (情)	記直しが合いが合い。 記言の統合。 会評し、 一 ト 価	要休・廃 号 010 後 まく下 に向け	正の検 B 070204 回る結
H E C	題総合評	一定の効果 るPRが 前年	果をあげてた。 とし要である とし要である	いるが :。メニ ・ 改	、平月 ユ ー数	t26年の 女の増加、 で 実	実績は前 利用者	況に	きく下回 に向けさ 検 前	中に	定の効 ととなっが、 PRが、	果をあげっ あまで ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	てたる。 評 値	るが、 メニュ 5 に お	平成20 一数σ	定義 前年度 前年度 評 6年の実	の事計総合シ (情)	記官の統令 によって はいから できます できます できます できます できます できます できます できます	要 休・廃 号 010 後	正の検 B 070204 回る結
H E C K) 改革·	題 総合評価	一定の効り 果ととなが。 前年 年	果をあげてた と要である 改要である	いるが :。メニ ・ 改	、 平 成 ユ ー数 善 策	t26年のず 枚の増加、 i の 実	を続は前 利用者	況に	きく下回。 に向けさi 検 討 「	中に	定の効 とななが PRが	果をあげっと である 必要であ 細施策	てたる。 評 値	るが、 メニュ 5 に お	平成26 一数の	定義 前年度 新年度 評のの 5年加、 6年加、 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の	の事計総合シ (情)	記直しが合いが合い。 記言の統合。 会評し、 一 ト 価	要休・廃 号 010 後 まく下 に向け	正の検 B 070204 回る結
H E C K) 改革·改	題総合評価今後	一定の効う 果るPRが加 前 年 朋	果をあげてた。 とし要である とし要である	いるが :。メニ ・ 改	、 平 成 ユ ー数 善 策	t26年の 女の増加、 で 実	実績は前 利用者	別年を大加 別 別 一 :	きく下回 に向けさ 検 前	中 『	定の効っ PRが 中年度 成果	果をあげっ あまで ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	てたる。 評 値	るが、 メニュ 5 に お	平成26 一数の	定義 前年度 新年度 評のの 5年加、 6年加、 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の	の事計総合シ (情)	記官の統令 によって はいから できます できます できます できます できます できます できます できます	要休・廃 号 010 後 まく下 に向け	正の検 B 070204 回る結
H E C K) 改革·改善	題総合評価今後の	一果る 前 成果の左	果をあげてた であまである	いるが :。メニ ・ 改	、 平 成 ユ ー数 善 策	t26年の事 女の増加、 で 実 評 ② ③	を を を を を を を を を を を を を を	別年を大加 別 別 一 :	きく下回に に向けさら 検 討 「 ⑦ ③	中に	定の効っ PRが 年 度 成果の T	果をあげった。 細胞 施策 が、一般 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	てた。 評 施	るが、 メニュ 5 に お	平成26 一数の	定義 前年度 新年度 評のの 5年加、 6年加、 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の	の事計総合シ (情)	記官の統令 によって はいから できます できます できます できます できます できます できます できます	要休・廃 号 010 後 まく下 に向け	正の検 B 070204 回る結
H E C K) 改革·改善	題総合評価今後	一果る 前 成果の方向 成果の方向 が	Restance A To A T	いるが :。メニ ・ 改	、 平 成 ユ ー数 善 策	t26年の 対の増加、 i の 実 評	を 検は前 利用者 施 状 ⑤	別年を大加 別 別 一 :	きく下回 に向けさ 検 前	ウ i	定の効っか	果をあげった。 毎し要で施施 第一弦 現状維持 小	でた。 評価	るが、 メニュ 5 に お	平成26 一数の	定義 前年度 新年度 評のの 5年加、 6年加、 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の	の事計総合シ (情)	記官の統令 によって はいから できます できます できます できます できます できます できます できます	要休・廃 号 010 後 まく下 に向け	正の検 B 070204 回る結
H E C K) 改革·改善	題 総合評価 今後の方	一果る 前 成果の方向 成果の方向 が	果をあげてた であまである	いるが :。メニ ・ 改	、 平 成 ユ ー数 善 策	t26年の事 女の増加、 で 実 評 ② ③	を を を を を を を を を を を を を を	別年を大加 別 別 一 :	きく下回に に向けさら 検 討 「 ⑦ ③	ウ i	定の効っか	果をあげった。 細胞 施策 が、一般 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	でた。 評価	るが、 メニュ 5 に お	平成26 一数の	定義 前年度 新年度 評のの 5年加、 6年加、 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の 6年の	の事計総合シ (情)	記官の統令 によって はいから できます できます できます できます できます できます できます できます	要休・廃 号 010 後 まく下 に向け	正の検 B 070204 回る結
H E C K) 改革・改善の方向	題 総合評価 今後の方向	一果る 前 成果の方向 成果の方向 が	Restance A To A T	・改	、 平 成 ユ ー数 善 策	t 26年の事 対の増加、 i の 実 評 ② ③ ④	E 橋 は 前 利用 名	別年を大加 別 別 一 :	きく下回に に向けさら 検 討 「 ⑦ ⑨	ウ i	定の効っか	果をあげった。 毎し要で施施 第一弦 現状維持 小	でた。 評価	るが、 メニュ <u></u>	平成2(一数の)	定義前年度	の事計総合シ ・ 事計総合シ ・ 事計総合シ ・ 市 は 信 1	記食の必許 - 価値を増加 一個 	要休・廃 号 010 後 まく下 に向け	正の検 B 070204 回る結
H E C K) 改革·改善	題 総合評価 今後の方	一果る 前 成果の方向 成果の方向 が	Restance A To A T	いるが ・ 改 ・ 改 ・ 古 皆	、平成 ユー教 善 策	t 26年の事 女の増加、 三の 実 評 ② ③ ④	Ea (1) (2) (3) (4) (5) (6) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (8) (9) (1) (2) (2) (3) (4) (5) (6) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (8) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (8) (9) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (1) (2) </th <th>沢 :</th> <th>きく下回さら に向けさら 検 計 ⑦ ⑨</th> <th>ウ 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「</th> <th>定の効っか</th> <th>果をあげった。 毎し要で施施 第一弦 現状維持 小</th> <th>でた。 評価</th> <th>るが、メニュ</th> <th>平成20 一数の ける 策</th> <th>定義前年度 評のの実</th> <th>の事計総合 () () () () () () () () () (</th> <th>記底の必評 - 価 左 増 加 1 価 レ 以 維持</th> <th>要休 1 010 後 き 1 後 き 2 (</th> <th>s止の検 B 070204 回る結な 大</th>	沢 :	きく下回さら に向けさら 検 計 ⑦ ⑨	ウ 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	定の効っか	果をあげった。 毎し要で施施 第一弦 現状維持 小	でた。 評価	るが、メニュ	平成20 一数の ける 策	定義前年度 評のの実	の事計総合 () () () () () () () () () (記 底の必評 - 価 左 増 加 1 価 レ 以 維持	要休 1 010 後 き 1 後 き 2 (s止の検 B 070204 回る結な 大
H E C K) 改革・改善の方向性	題 総合評価 今後の方向	一果る 前 成果の方向性 コニー	RCA を も まで さ さ も まで さ も まで さ も まで も まで も まで も まで も まで も まで も も まで も も も も も も も も も も も も も	いるがニ ・ 改 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、ユー 善策 第一 ループレー・ 「	t 26年のず 女の増加、 ま 評 ② 3 ④ 総称 ト 世域での	度 種 和 施 (5) (6) (8) 小 (7) 利用(6)	万年を大加 沢 価 レ 総	きく下回さら 検 前 ⑦ ③ ・	中	定のなR 有 成果の方向性 は果の方向性 ユニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	果で必 細	でたる。評価施	も に お き コレ	平成20 け ま る る 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	定義前年野の加後野の加後のでである。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	記食の必許 - 価 年 	要休 1 9 010 後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	B 070204 回る結な 大
H E C K) 改革・改善の方向性(AC	題 総合評価 今後の方向性	一果る 前 成果の方向性 コユニー コュニー コーメ	RCA を を を は で た を は で た は た は た に で た も まで さ た は た に た に た に た に た に た に た に に た に に に に に に に に に に に に に	いるが。 ・ 改 5 一 を 3 一 では	、ユー 善策 第一 川し講演 て座中	t 26年のず 女の増加、 ま 評 ② 3 ④ 総称 ト 世域での	度 種 和 施 (5) (6) (8) 小 (7) 利用(6)	万年を大加 沢 価 レ 総	きく下回に に向けさら 前 ⑦ ③ ・ 1000 ・ 1000	大 D紙 メ	では、	果 て必 細	でたる。評施・プラだ	も に お コ し 調 は は 遺 は は 調 は は は は は は は は は は は は は	平成200 (ける) 兼 (水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	定義前年野の加後野の加後のでである。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	記 底の必評 - 価年の 性 価 レ 親 の で	要休 1 9 010 後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	B 070204 回る結な 大
H E C K) 改革・改善の方向性(ACT	題 総合評価 今後の方向性 改	一果る 前 成果の方向性 コニー	RCA を を を は で た を は で た は た は た に で た も まで さ た は た に た に た に た に た に た に た に に た に に に に に に に に に に に に に	いるが。 ・ 改 5 一 を 3 一 では	、ユー 善策 第一 川し講演 て座中	t 26年のず 女の増加、 ま 評 ② 3 ④ 総称 ト 世域での	度 種 和 施 (5) (6) (8) 小 (7) 利用(6)	万年を大加 沢 価 レ 総	きく下回さら 検 前 ⑦ ③ ・	大 D紙 メ	では、	果で必 細	でたる。評施・プラだ	も に お コ し 調 は は 遺 は は 調 は は は は は は は は は は は は は	平成200 (ける) 兼 (水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	定義前年野の加後野の加後のでである。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	記食の必許 - 価 年 	要休 1 9 010 後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	B 070204 回る結な 大 t
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・	一果る 前 成果の方向性 コユニー コュニー コーメ	RCA を を を は で た を は で た は た は た に で た も まで さ た は た に た に た に た に た に た に た に に た に に に に に に に に に に に に に	いるが。 ・ 改 5 一 を 3 一 では	、ユー 善策 第一 川し講演 て座中	t 26年のず 女の増加、 ま 評 ② 3 ④ 総称 ト 世域での	度 種 和 施 (5) (6) (8) 小 (7) 利用(6)	万年を大加 沢 価 レ 総	きく下回さら 検 前 ⑦ ③ ・	大 D紙 メ	では、	果 て必 細	でたる。評施・プラだ	も に お コ し 調 は は 遺 は は 調 は は は は は は は は は は は は は	平成200 (ける) 兼 (水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	定義前年野の加後野の加後のでである。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	記食の必許 - 価 年 	要休 1 9 010 後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	B 070204 回る結な 大 t
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	題 総合評価 今後の方向性 改革・改	一果る 前 成果の方向性 コユニー コュニー コーメ	RCA を を を は で た を は で た は た は た に で た も まで さ た は た に た に た に た に た に た に た に に た に に に に に に に に に に に に に	いるが。 ・ 改 5 一 を 3 一 では	、ユー 善策 第一 川し講演 て座中	t 26年のず 女の増加、 ま 評 ② 3 ④ 総称 ト 世域での	度 種 和 施 (5) (6) (8) 小 (7) 利用(6)	万年を大加 沢 価 レ 総	きく下回さら 検 前 ⑦ ③ ・ 加 ・ 向 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	大 D紙 メ	では、	果 て必 細	でたる。評施・プラだ	も に お コ し 調 は は 遺 は は 調 は は は は は は は は は は は は は	平成200 (ける) 兼 (水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	定義前年野の加後野の加後のでである。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	記食の必許 - 価 年 	要休 1 9 010 後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	B 070204 回る結な 大 t
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善	一果る 前 成果の方向性 コユニー コュニー コーメ	RCA を を を は で た を は で た は た は た に で た も まで さ た は た に た に た に た に た に た に た に に た に に に に に に に に に に に に に	いるが。 ・ 改 5 一 を 3 一 では	、ユー 善策 第一 川し講演 て座中	t 26年のず 女の増加、 ま 評 ② 3 ④ 総称 ト 世域での	度 種 和 施 (5) (6) (8) 小 (7) 利用(6)	万年を大加 沢 価 レ 総	きく下回さら 検 前 ⑦ ③ ・ 加 ・ 向 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	大 D紙 メ	では、	果 て必 細	でたる。評施・プラだ	も に お コ し 調 は は 遺 は は 調 は は は は は は は は は は は は は	平成200 (ける) 兼 (水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	定義前年野の加後野の加後のでである。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	記食の必許 - 価 年 	要休 1 9 010 後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	B 070204 回る結な 大 t
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善策	一果る 前 成果の方向性 コユニー コュニー コーメ	RCX	いるが。 ・ 改 5 一 を 3 一 では	、ユー善・ケー・ボース・プロ・ファー・ボース・アー・ボース・アー・ボース・アー・ボース・アー・ボース・アー・ボース・アー・ボース・アー・ボース・アー・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボー	t 26年のず 女の増加、 ま 評 ② 3 ④ 総称 ト 世域での	E 積	沢価レポークを表がいた。	きに 検 前 ⑦ ⑨ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大 D紙 メ	では、	果 て必 細	でたる。評施・プラだ	も に お コ し 調 は は 遺 は は 調 は は は は は は は は は は は は は	平成200 (ける) 兼 (水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	定義前年野の加後野の加後のでである。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	記食の必許 - 価 年 	要休 1 9 010 後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	B 070204 回る結な 大 t

平成27年度事務事業評価シート(一般事務事業用)

一般会計【茅野市】

			公募委員参	画推:	進事業									事業期間	引 平成	22	~		年度	整理番号	01040	114
担当	当部	署	企画総務部			企画	戦略課			政策企	画係			作成担当	4者名	竹	村	紀	彦	連絡先	153	2
計画	おり	する	プランに 位置づけ 事業名 :業の概要				事務	策 策 施 策 務事業	03 01 06	第3節 人材の 公募委	育成。	治を担 と活用 画推進	のしく。 うひと・ 事業 ・募によ	ゴくりの	会計	コート		款、よ		項 01 目 い市民意		
			と 背 景うして)	様々 る。	な検討	対を行っ	ていく	(上で、	広い初	野から	ら多様	な意見	を取り	入れる	とめには	ま、広	く公募	によ	って選	ぱれる委	員が必要	であ
(р	目	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	市民市民																		
P	的	(どん	意図な状態にしたいか)			見を市政																
L			方法やって)	条例	や規則	川等に分	きって、	広報も	らので	₹員を4	公募す	் க் .										
			行政活動の約	結果:	からつ	くりだっ	すもの	は何?	指	標	名	称	単位	算出力	法・計	算式	・目標	値設	定の	考え方なと	最終目	標値
N		活動指標	公募委員の	募集					募集数	t			<u> </u>	*								
~	指標の作	成	成果	•	効	果は	: 何	?	指	標	名	称	単位	算出力	5法・計	十算式	・目標	値設	定のネ	考え方など	最終目	標値
	成	果指標	公募委員の	参加"	する会	護の割	合		公募委	員参加	中会議	割合	%		員参加 会の状				数×1	00 (HP上		50

	Į	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	lull.		(a)	円					
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正 規 職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人	·				
状	数	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
1	18		数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	٦	市民一人当たりのコス		円	_	_	_	_	_
			目標						
		募集数	実績						
	活		達成率	%	_	_	_	_	_
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	ीरार		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_		_	
0	-		目標	%		50	50	50	50
	成	公募委員参加会議割合	実績			21	25	37	37
	果指		達成率	%	_	42. 86	50. 00	74. 00	74. 00
J	指		目標						
	標	_	実績	2.1					
			達成率	%	_				_
		末日に ナムか ごか 圧削が	TA Z t .	- Xn 4	1首のタイミングで何	歴土 三色 ガキるわけ	プル・ナー・アン・ト・ナー・オール 一番なり (首)	日畑の砂学にかげまり	21.1
	備	委員にはそれぞれ任期が	00 00 12	.07.	上級のブイベンフでは	及び芽末じともわり	ではないため、数値	日保の政とになしまる	, o

l tA	当部	系名 公务3 3 署 <u>企画</u> 約			◆□	戦略	a	1	女策企画係	•			成担当	安夕		村		紀彦		連絡	生	1	52
15					15.00	42400	**		以来正画 17				・灰担ヨ	1111	13	TI					<i>)</i> L		JZ
	期			目標						実 糸	責							Ē	果是	夏			
	第																						
四	1																						
	期																						
半	第																						
	2 期																						
期	741																						
***	第																						
	3																						
ij	期																						
	第							(市HPから															
ے	4							設置会議 公募委員		th.10/2	二苯	ᇷᆿ	누모 카드										
	期							回、Pまち) 비 , 미	I DEC 7	73									
		l							事「		Ŧ	価											
Ø	当生	年度開始後	、約6ヶ	月が経	渦し	新たに	こ牛じま	と問題占や	-7-	: //-	١,	-	充	.		•	2		(5)			7	
			,55 /	V 1712.					-1. 50 00 50	7	果					i.					j.	. <u></u>	
管										後	の		 状維持	Ŧ			3		6			9	
										の	方向	縮	小	`			4		8			10	
_		新年月	をの実施 記	十画・-	予算要	求事項	頁(改	革・改善	策)	方	向性		廃 止	- (D								
理											-		,,,,			`- -	د ین	, I.	70	J P 44.	++	14	
										向		_	/		皆	減	縮			状維:	- 1	拡	大
										性		/			⊐	ス	۲	投	人	の :	万	向	性
		評価年度																					
	_		TV	217		//		+	ᄊ	h#-			솼	कं		h4L		4/3	_	≘π	/ I II	थ्य	-
		見点	妥	当		生	1	有	効	性	4	4 1	効	率		性	_	総	合	評	価	判	定
評		の観点	1 2	3	4	判定	<u> </u>	2	3 4	判別	E	1	2	3	4	判							
	7	エック	* + + = +	ν c ort	# 40+	3	****	+ II A 1	レー・モー・モー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー	3		A = 1	= +1-	レ	T 10 1	3		IΛ	· =+12	i ビセ1	山重者	* 大 准	めるこ
		募集をして 必要である		שועטפי	きかい	* 0, 2	表守も	00 V . 12 9	学安良で多	*果96	4 3 7 =	10/15	た方に	701	しの見	通しん	J,	記	とカ	(適当			
価																		号B	: 事業	きの進む	め方に	改善	が必要
	課																	ന റ	. 重型	έ 相構	内区	<u> </u>	!施主休
	課																	の C 定 _	:事業の見	直直した	が必要	Ē	施主体
^																		の C 定	:事業 の見 :事業	直直した	が必要	Ē	施主体 止の検
^ c	課題																	の C 定 _	: 事業 の見 : 事業 討か	直した (の統 で (必要	が必要 合、を	Ē	
(с																		の 定 義 D	: 事業の事業が 会	直した の統領 <u>・必要</u> ・評価	が必要 合、な 判定	・廃	
(с т	題	細			策		評	価	前			細		施		策	•	の定義 D 前年度 前年度部	: 事別の事別を 一年	直したの統領の統領を対象を表する。	が必要合、 を 判定 理番号	e k · 廃 後	止の検
н	題	様々な視点	ねから、す	民の意	見を耳	対り入2				7後も	集 々7	な視点	から、	市民	の意	を取	: U 7	の定義 D 前年度 前年度部	: 事別の事別を 一年	直したの統領の統領を対象を表する。	が必要合、 を 判定 理番号	e k · 廃 後	止の検
	題総		ねから、す	民の意	見を耳	対り入2				冷後もは	策々 ⁷ 必要!	な視点		市民	の意見	を取	. U.J.	の定義 D 前年度 前年度部	: 事別の事別を 一年	直したの統領の統領を対象を表する。	が必要合、 を 判定 理番号	e k · 廃 後	止の検
H E	題	様々な視点	ねから、す	民の意	見を耳	対り入2				*後も 4	策々? 必要!	な視点	から、	市民	の意 り 変施して	を取		の定義 D 前年度 前年度部	: 事別の事別を 一年	直したの統領の統領を対象を表する。	が必要合、 を 判定 理番号	e k · 廃 後	止の検
н	題総	様々な視点	ねから、す	民の意	見を耳	対り入2				*後も は	策々≀ 必要Ⅰ	な視点	から、	市民	の意 り 関施して	を取		の定義 D 前年度 前年度部	: 事別の事別を 一年	直したの統領の統領を対象を表する。	が必要合、 を 判定 理番号	e k · 廃 後	止の検
H E	題総合評	様々な視点	ねから、す	民の意	見を耳	対り入2				*後も	策々? 必要!	な視点	から、	市民	の意見	を取	. U .	の定義 D 前年度 前年度部	: 事別の事別を 一年	直したの統領の統領を対象を表する。	が必要合、 を 判定 理番号	e k · 廃 後	止の検
H E C	題総合	様々な視点 必要に応し	なから、it たて募集を	ī民の意 ∶実施し	i見を取 .ていく	なり入 ; (。	れるこ	とは重要で		į,	必要(な視点に応じ	から、 で 募集	市民を実	を施して	を取	0	の定義が年度	: 事別の事別を (本) と (は)	直した。 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	が必要合、 を 判定 理番号	e k · 廃 後	止の検
H E C K)	題総合評	様々な視点 必要に応し 前 年 月	in から、市 に で 募集 を で 改 革	民の意 実施し	見を取 でいく	なり入 だ く。	れるこ 。 実 施	とは重要で	であり、숙	į,	必要(な視点に応じ	から、 て 募集 田施策	市民を実	西にま	を取 いく s け る	•	の定義が年度語がある。	まの事討総シー 方の事が合い。	直の統領 一ト 価 要	が必要合、 を 判定 理番号	要 · 廃 ・ 廃 ・ 後 り、	止の検
H E C K)	題総合評	様々な視点必要に応し	なから、市 で募集を と 改 革	民の意 実施し	i見を取 .ていく	牧り入 く。	れるこ	とは重要で 状況	であり、全	į,	必要(を視点に応じ 年度 組	まから、 たて募集 田施策	市ま	西にま	を取	•	の定義が年度	まの事討総シー 方の事が合い。	直した。 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	が必要合、 を 判定 理番号	e k · 廃 後	止の検
H E C K) 改革·	題 総合評価	様々な視点必要に応じ	なから、市 で募集を と 改 革	民の意 実施し	見を取 でいく	なり入 だ く。	れるこ 。 実 施	とは重要で	であり、숙	į,	前年成	な視点に応じ	まから、 たて募集 田施策	市ま	西にま	を取 いく s け る	•	の定義が年度語がある。	まの事討総シー 方の事が合い。	直の統領 一ト 価 要	が必要合、 を 判定 理番号	要 · 廃 ・ 廃 ・ 後 り、	止の検
H E C K) 改革·改	題総合評価今後	様々な視点の必要に応じ	なから、市 で募集を と 改 革	民の意 実施し	見を取 でいく	牧り入 く。	れるこ 。 実 施	とは重要で 状況	であり、全	į,	前一成果	を視点に応じ 「	まから、 たて募集 田施策	市長を実	西にま	を取 いく s け る	•	の定義が年度語がある。	まの事討総シー 方の事が合い。	直の統領 一ト 価 要	が必要合、 を 判定 理番号	要 · 廃 ・ 廃 ・ 後 り、	止の検
H E C K)改革·改善	題総合評価今後の	様々なに応り 年 銀 担 現 の 方	はから、中では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	民の意 実施し	見を取 でいく	なり入; (。 ② ③	れるこ 。 実 施	状況 価 ⑤ ⑥	であり、全 前 ⑦ ③	į,	が 前 成果の方	なにを度細拡張	まから、 たて募集 施 策 元 充	市長を実	西にま	を取 いく s け る	•	の定義が年度語がある。	まの事討総シー 方の事が合い。	型のでは、10年間である。 「は、10年間である。 「は、10年間である。 「は、10年間である。」 「は、10年間である。」 「は、10年間である。 「は、10年間である。」 「は、10年間である。 「は、10年間である。」 「は、10年間では、10年に	が必要合、 を 判定 理番号	要 · 廃 ・ 廃 ・ 後 り、	止の検
H E C K)改革·改善	題 総合評価 今後の方	様々な視点 前 成果の方向 編	なから、神をなる 英雄 大大 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	E 改	見を取 でいく	なり入 :	れるこ 。 実 施	大 次 次 に (5)	であり、全 <u>前</u> ⑦	į,	前の成果の方向	なに ・ 度細が現場を ・ のでは、 ・ の	で (本)	市長を実 評価	西にま	を取 いく s け る	•	の定義が年度語がある。	まの事討総シー 方の事が合い。	型のでは、10年間である。 「は、10年間である。 「は、10年間である。 「は、10年間である。」 「は、10年間である。」 「は、10年間である。 「は、10年間である。」 「は、10年間である。 「は、10年間である。」 「は、10年間では、10年に	が必要合、 を 判定 理番号	要 · 廃 ・ 廃 ・ 後 り、	止の検
H E C K) 改革・改善の方向	題総合評価今後の	様々な視点 前 成果の方向 編	はから、中では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	· 改 (1)	!見を取	文リス (。 ② ③ ④	<u>実</u> 施	状況 価 ⑤ レ ⑧	前 ⑦ ⑨		が 前 成果の方	なに ・ 度細が現場を ・ のでは、 ・ の	まから、 たて募集 施 策 元 充	神を実	西 に ま	を取く S ける 策	· 3 今	の定義の印象を表現である。	: : 5 2 1 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方	見食の必評・ 価重 1 価 レ	が合、料理である	要・・ 後り、 後	今後も
H E C K) 改革・改善の方向性	題 総合評価 今後の方	様々な視点 前 成果の方向 編	なから、神をなる 英雄 大大 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	· 改 · 改	見を取る ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	文 り へ 。 ② 。 ③ ・ 編 名 ・ 編 名 ・ 編 名 名 る る る る る る る る る る る る る る る る る	実施	状況 価 ⑤ レ 3 現状維持	であり、全 前 ⑦ ⑨ 加 ・ 拡	į,	前の成果の方向	なに ・ 度細が現場を ・ のでは、 ・ の	で (本)	神を実	西にま	le but s the le	8 今 名 今	の定義の肝師年度	: :	直	が合、判理であり、というでは、対象のでは、としく、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、 ・**********************************	要	今後も
H E C K) 改革・改善の方向性(題 総合評価 今後の方向性	様々なに 前 成果の方向性	なり、中では、大きなのでは、まなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、まなのでは、大きなのでは、大きなのでは、まないでは、まないでは、まなのでは、まなのでは、まなのでは、まないで	· 改 (1) 皆	見を取る 善	y り入。 ② ③ ④ 縮ト	大き 大	状況 価 ⑤ レ 3 現状維持方	前 ⑦ ③ 加 ・ 加 ・ 加 ・ 加	大		な 視応 度 細 拡 顎 縮 休	はから、 ・	市を主	西 (こ ま	le を取く s け i 策	8 今	の定義の肝師を表することを表して、日本ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	: : 接	見直の必評・価値 という は、	が合 判理 で	要・ 後り、 後 拡 性	今後も 大
H E C K) 改革・改善の方向性(A	題 総合評価 今後の方向性 改	様々な視点 前 成果の方向 編	なり なり ない 一人 ない こうしゅう しゅうしゅう しゅう	で表施し ・ 改 ・ 改 ・ で	見を取く 善 策	y () () () () () () () () () (れるこ 施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とは	前 ⑦ ③ 加 ・ 加 ・ 加 ・ 加	大 を募り	前 成果の方向性 門	なに 度 細 拡 現 縮 休 を有	で (本)	市長	西 (こ ま	levi s 策 減 ス は	8 今 格ト 公公	の定義が前年を取ることを表現して、日本のでは、日	: : b ()	見直の必評・価値 という は、	が合 判理 で	要・ 後り、 後 拡 性	今後も 大
H E C K) 改革・改善の方向性(題 総合評価 今後の方向性	様必 前 成果の方向性 専門性を	なり なり ない 一人 ない こうしゅう しゅうしゅう しゅう	で表施し ・ 改 ・ 改 ・ で	見を取く 善 策	y () () () () () () () () () (れるこ 施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とは	前 ⑦ ③ 加 ・ 加 ・ 加 ・ 加	大 を募り	前 成果の方向性 門	なに 度 細 拡 現 縮 休 を有	はから 集 策 策 元 持 小 止 る会	市長	西 (こ ま	levi s 策 減 ス は	8 今 格ト 公公	の定義が前年を取ることを表現して、日本のでは、日	: : b ()	見直の必評・価値 という は、	が合 判理 で	要・ 後り、 後 拡 性	今後も 大
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・	様必 前 成果の方向性 専門性を	なり なり ない 一人 ない こうしゅう しゅうしゅう しゅう	で表施し ・ 改 ・ 改 ・ で	見を取く 善 策	y () () () () () () () () () (れるこ 施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とは	前 ⑦ ③ 加 ・ 加 ・ 加 ・ 加	大 を募り	前 成果の方向性 門	なに 度 細 拡 現 縮 休 を有	はから 集 策 策 元 持 小 止 る会	市長	西 (こ ま	levi s 策 減 ス は	8 今 格ト 公公	の定義が前年を取ることを表現して、日本のでは、日	: : b ()	見直の必評・価値 という は、	が合 判理 で	要・ 後り、 後 拡 性	今後も 大
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	題 総合評価 今後の方向性 改革・改	様必 前 成果の方向性 専門性を	なり なり ない 一人 ない こうしゅう しゅうしゅう しゅう	で表施し ・ 改 ・ 改 ・ で	見を取く 善 策	y () () () () () () () () () (れるこ 施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とは	前 ⑦ ③ 加 ・ 加 ・ 加 ・ 加	大 を募り	前の成果の方向性の関係を表現しています。	なに 度 細 拡 現 縮 休 を有	はから 集 策 策 元 持 小 止 る会	市長	西 (こ ま	levi s 策 減 ス は	8 今 格ト 公公	の定義が前年を取ることを表現して、日本のでは、日	: : b ()	見直の必評・価値 という は、	が合 判理 で	要・ 後り、 後 拡 性	今後も 大
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・	様必 前 成果の方向性 専門性を	なり なり ない 一人 ない こうしゅう しゅうしゅう しゅう	で表施し ・ 改 ・ 改 ・ で	見を取く 善 策	y () () () () () () () () () (れるこ 施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とは	前 ⑦ ③ 加 ・ 加 ・ 加 ・ 加	大 を募り	前の成果の方向性の関係を表現しています。	なに 度 細 拡 現 縮 休 を有	はから 集 策 策 元 持 小 止 る会	市長	西 (こ ま	levi s 策 減 ス は	8 今 格ト 公公	の定義が前年を取ることを表現して、日本のでは、日	: : b ()	見直の必評・価値 という は、	が合 判理 で	要・ 後り、 後 拡 性	今後も 大
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善策	様必 前 成果の方向性 専門性を	なり (大)	で表施し ・ 改 ・ 改 ・ で	見を 取く	り入。 ② ③ ④ 縮ト な必要が はな必要が	れる 三 施	とは	が 前 ② ③ ・ 加 ・ 向 ・ 女 ・ 女 ・ 女 ・ 女 ・ 女 ・ 女 ・ 女 ・ 女	大 を募り	前の成果の方向性の関係を表現しています。	なに 日本 細一 「大性る 一 大性る 一 大性る	はから 集 策 策 元 持 小 止 る会	下長	西 (こ ま	levi s 策 減 ス は	8 今 格ト 公公	の定義が前年を取ることを表現して、日本のでは、日	: : b ()	見直の必評・価値 という は、	が合、料理では、人間では、人間では、一切では、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	要・ 後り、 後 拡 性	今後も 大